

# くまのもりお通信



食文化かなざわ大会2015

Vol.03  
2016.Mar

## TOPICS

「会派みどり」から会派「創生かなざわ」へ

これまで一人会派として活動してきましたが、玉野道議員、宮崎雅人議員と共に「創生かなざわ」を結成しました。結成にあたり、金沢市政に関して市民目線にたった是非々の態度で臨むこと、行政に対してチェック機能を果たす二元代表制の基本を常に忘れないことを申し合わせました。



近江町市場にて

皆様からのご意見、心よりお待ちしております。

✉ info@kumanomorio.com

くまのもりお事務所 ☎ 076-256-3757  
金沢市みどり2-6-2 FAX.076-256-3836

金沢市役所〈創生かなざわ〉 ☎ 076-220-2448  
金沢市広坂1-1-1 FAX.076-223-0116

ホームページも随時更新しています→ <http://kumanomorio.com>



発行／金沢市議会議員 熊野盛夫 〈自宅〉金沢市松村7丁目36-13

お世話になっております。新人金沢市議の熊野盛夫です。新人と言っても既に一年が経とうとしています。おかげさまで一年間すべての議会で質問の機会をいただきました。

現在、金沢市政で市民の皆様の関心が高いのは“家庭用ゴミ袋の有料化”です。紙資源のリサイクル化が全国一位の横須賀市に習って報奨金を現在の2円から4円にすることを市議会で提案したり、市民への理解を深めるためにさらなる説明会の開催を訴えてきました。

報奨金に関しては、積極的に検討いただいておりますが、市民に対するさらなる説明会は求められないかぎり開かないという上から目線の答弁でした。

しかし金沢市廃棄物総合対策審議会の答申を受けて、ようやく金沢市も丁寧な説明会の開催に踏み切る方針に転換しました。

今年度は有料化は見送られましたが、説明会を踏まえて金沢市は有料化を推進する方向です。最終的には各町会単位での説明会が行われると思われます。

皆様の声をしっかり金沢市へ伝えましょう。直接、市に伝え辛かったり聞きにくい方はわたくし熊野にお伝え下さい。

## 食文化かなざわ大会2015

平成25年9月議会で「金沢の食文化の継承及び振興に関する条例」が制定されました。

目的は、藩政時代から培われ、市民の食習慣として生活に深く溶け込み、特有の発展を続けてきた金沢の食文化の継承及び振興について、市民、事業者及び市の役割を明らかにするとともに、金沢の食文化の継承及び振興を図るための事項を定めることにより、金沢の食文化の持続的な発展に寄与することです。

金沢市議会では、条例制定後、宮崎雅人議員が中心になって実行委員会を立ち上げ「食文化かなざわ大会」を開催しています。私も、実行委員のひとりとして「2015」の大会から協力参加させていただいております。香箱解禁後の11月11日に毎年開催することを決めています。「2016」も開催致します。ご興味御座います方は、是非ご連絡下さい。



## 3月議会での質問

3月議会では、6月議会（2015年）でも質問した金沢マラソンの障がい者の表彰枠の設置を促す質問と、学校給食について質問をしました。

金沢マラソンの障がい者表彰枠については、表彰枠をつくることには前向きでしたが、体制が整うまでもう少し待つて欲しいという答弁をいただきました。

また、学校給食については、以前視察で訪れた南房総市（千葉県）の地産地消の完全和食化の取り組みが、農家さんや子ども達からは高評価であり肥満度も減少。さらに、給食費だけで賄えない部分は地方創生の予算から捻出し、地方創生の予算が切れても市は続けていくと伺い感銘を受けました。そして、世界的に問題になっているトランス脂肪酸\*使用の観点からも金沢市での考え方を質問しましたが、残念ながら十分な答弁はいただけませんでした。この学校給食については、引き続き様々な観点から質問していきたいと思っております。

\*トランス脂肪酸 マーガリン、食パン(ショートニングとして)に含まれる。全米では、健康のため2018年トランス脂肪酸の全面使用禁止が決まっている。

## いしかわ若手議員の会

石川県内の地方議員の若手でつくる「いしかわ若手議員の会」に昨年より入会しております。若手議員との交流は、各自治体間の問題の違いや共通する議会内の問題など勉強する良い機会になり、取り組む姿勢は励みになります。

2月11日には輪島市にて「ダディーズの会」と共同で、若者を対象にした輪島市長選の模擬選挙を行いました（右新聞記事参照）。



北陸中日新聞2月11日朝刊

んは投票のやり方は話だ。思ったより簡単。本番は大。ダディーズの会の赤田直。も輪島で生活したので、。副代表は「きょうと選挙。魅力あるまちづくりを期待。備えてほしい」と呼び掛け。を待つ人々に投票したと。た。 (山本義久)

